

2024.5.9

堂込まきこ組織内参議院議員、財政金融委員会で質疑！

日銀のマイナス金利解除が地域経済に及ぼす影響について、質疑を行いました！

<https://youtu.be/djEGJ4Xf02U>

発言抜粋

「日銀のマイナス金利解除が地域経済に及ぼす影響について」



堂込まきこ

- ・3月の金融政策決定会合で決定されたマイナス金利解除による今後の金利上昇が、経済に影響をもたらすのではないかと心配する声も茨城県でも多く聞こえております。
- ・中小企業からは金利が上がるなら投資を控えるしかない、また、住宅ローンを借りている方からは家計負担が増える、といった声がありますが、これまで金利がなかった世界で多くの人々は生きてきたので、金利がある世界に入っていくことに警戒感を持つのは当然であると思います。
- ・コロナ禍からの経済社会の正常化を図る中、円安・物価高の悪影響への

対応を余儀なくされている中小または小規模企業、そして、そこで、働く従業員がたくさんいらっしゃいますので、地域経済に対する配慮が必要だと考えます。

- ・金融政策の枠組みの見直しによる地域経済への影響およびそれに対する処方箋について見解をお尋ねします。
- ・併せて、金融政策の判断材料の一つとなる日銀短観の調査が、比較的大規模な中小企業に集中していることで、小規模事業者の状況が反映されていないとの指摘がありますが、小規模事業者を含めた現状把握にどう取り組まれているのかをお伺いします。

植田日銀総裁

- ・企業向けの貸出金利や住宅ローン金利等は、市場金利の動向や市場金利の変化を受けて、各金融機関の判断で決定されるものです。
- ・この間をみますと、短期金利の上昇は0.1%程度ですので、中小企業向けを含めた貸出金利の上昇はごく僅かであると見ております。
- ・この先、金利の変化により、地域経済や中小企業にどのような影響が出てくるのかについては、引き続き、丁寧に点検していきたいと思っております。
- ・点検方法については、短観は私どもが大規模に実施している調査ですので、よく見ておりますが、ご指摘のとおり、短観では相対的に大きな中小企業が中心になっていきますので、その他の機関が実施している調査を見ておりますし、私どもで中小企業や地方の商工会議所を訪れて、ヒアリングを実施し、その結果について議論することも常日頃からしております。
- ・こうしたヒアリングの一部やそのエッセンスについては「さくらレポート」というレポートで対外的にも公表しております。
- ・引き続き、中小企業あるいは小規模事業者も含めた企業活動の実態把握に努めていきたいと思っております。